



JAびらとり

びらとり特別栽培米協議会

取り組みの ご紹介

品 種：ななつぼし

栽培方法：特別栽培米

沙流川（1級河川）
さるがわ

2004年には国土交通省が
行っている全国一級河川の水
質調査で1位に選ばれている。

■ 基本情報



部 会 名: びらとり特別栽培米協議会

構 成 員: 5名

面 積: ななつぼし 1,647 a

ゆめぴりか 751 a

成分回数: 9～11回

化学肥料窒素施用量計: 5kg

(慣行栽培における窒素施用量: 10kg)

出荷可能数量

「ななつぼし」: フレ30本(30.60トン)



■産地PR-生産概況-

【農業】

- ☞ 肥沃な大地・清冽な水で生産される「びらとり米」
- ☞ 「ニシパの恋人」で知られる、トマト、トマトジュース
(トマト生産量は北海道内1位)
- ☞ ほうれん草、みやこ南瓜など多種多様な施設路地野菜

【畜産業】

- ☞ 旨味の強いこだわりの「びらとり和牛」
- ☞ 脂肪まで美味しい「びらとり黒豚」



■産地PR-米づくり-



・恵まれた土壌・水・気候による良質米の生産

- ☞ 日高一の長流・沙流川が形成した肥沃な土壌・清冽な水
- ☞ 昼夜の温度差が大きく、お米作りに適した地域

・病害虫の発生が少ない

- ☞ 北海道内でも冷涼な地域のため、病害虫の発生が少ない
- ☞ 農薬の使用量を抑えられ、人・環境にやさしいクリーンな農業が可能

・有機肥料の使用

- ☞ 地域の酪畜農家と連携し、有機肥料を使用
- ☞ 農業用水の流出する川・海への環境保全にも配慮し、持続可能な農業の実践

水稻生産戸数:87戸
水稻作付面積:525ha



☆「全道ゆめぴりかコンテスト（2016年）」で最高金賞を受賞

■産地PR -環境にやさしい持続可能な農業の実現-

- 特別栽培

- ☞ 化学農薬：当地比5割以上減・化学肥料：同5割以上減（有機肥料使用）
- ☞ フェロモントラップ、すくい取りによるカメムシの耕種的防除
- ☞ ラジコンヘリ防除による周囲の環境への農薬飛散防止
- ☞ 農林水産省「環境保全型農業直接支払交付金」の取り組みに沿った生産（みどりのチェックシート）

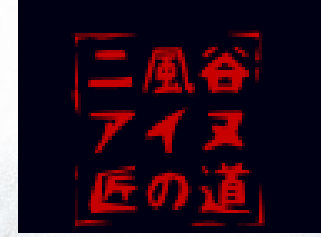
- 温室効果ガス削減

- ☞ 稲わらの搬出
- ☞ 秋のすき込み作業
- ☞ 中干しによるワキ対策（有機分解によるメタン抑制）

- 耕畜連携による循環型農業の取り組み



■ 産地PR -アイヌ文化が根差した農業-



• アイヌと平取町

👉 沙流川流域の平取町ニ風谷地区では、アイヌの伝統・文化が現在も継承され、その精神性や生活様式、工芸品などを現代に伝えている。

• 「自然との共生」の精神

- 👉 アイヌ文化では「自然・自然現象それぞれに神(カムイ)が宿り、人間も自然の一部」とする考え方がある
- 👉 「自然との共生」を重んじるアイヌ文化の考えが、現代の稲作にも通じている
- 👉 自然にやさしい特別栽培(化学農薬節減・有機肥料の使用等)を通じて、現代にアイヌの精神性を継承している。



出典:ウポポイ公式HP



【工芸品】ニ風谷イタ



【工芸品】ニ風谷アットウシ

■最後に

これからの取り組み

☞ 我々は引き続き、自然との共生、そして
環境にも人間にもやさしい安全安心で
持続可能な米づくりを続けていきます。



びらとり特別栽培米協議会
会長 貝澤 太一

自然と共に生きる心で栽培された、こだわりの「びらとり米」
ぜひご検討ください！